

平成25年度(1)年生(技術家庭)科シラバス

教科の目標

実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
生活者としての自覚をもち、日常生活の中から課題を見だし、解決を目指す活動を通して学習を深める。

月	単元・項目	つけてほしい力	学習のアドバイス	評価方法
4	導入	3年間の学習内容を知り、目標を立てることができる。	小学校の家庭科を思い出そう。	定期テスト
5	私たちの衣生活と住生活	1. 着る目的を考えよう	衣服の働きと目的に応じた衣服の着方や個性を生かした着方を考えることができる。	実技テスト
6		2. 衣服の計画的な活用方法を考えよう	手持ちの衣服を点検し、有効に活用しているか振り返る。	提出物 ・ファイル ・ワークシート
7		3. 必要な衣服を選択しよう	既製服を選択するポイントを理解する。 既製服を選択するための情報を収集・整理し、適切に選ぶことができる。	忘れ物
9		4. 衣服の手入れをしよう 実技テスト ・ボタン付け ・まつり縫い	手入れや補修の必要性を考えることができる。 綿・毛・ポリエステルなどの手入れにかかわる性質について理解できる。 洗濯機での洗濯方法と洗剤の種類や特徴を理解できる。 衣服の手入れ(ボタン付け・まつり縫い)ができる。	授業態度
10		5. よりよい衣生活を目標して	環境や資源に配慮した衣生活を送るための課題を見つけることができる。	自己評価表
11		1. 住まいの役割とは何だろう	住まいの役割を知り、説明できる。 日本各地の住まいと特徴を理解できる。	
12		2. 家族と住まいのかかわりを考えよう	家族と住まいのかかわりについて考えることができる。 生活行為と住空間の関係について理解できる。 家族の生活によって住まい方が違うことが説明できる。	
		3. 安全に住むためにはどうしたらよいだろう	家庭内で安全に住むための室内環境の条件が分かる。	
		4. 健康で快適な室内空間を考えよう	健康で心地よく住むための室内条件をまとめることができる。	
		5. よりよい住生活を目標して	家族が暮らしやすい住まいの工夫を、具体的に考えることができる。	
	私たちの食生活	1. 食事の役割を考えよう	自分の食生活を振り返り、課題を見つけることができる。 食事の役割について理解できる。 健康を支える3本柱について理解できる。	
		2. 栄養素の種類と働きを知ろう	栄養素の種類と働きや水の働きについて知る。	
		1. 食品に含まれる栄養素を知ろう	身近な食品の栄養的な特徴を知る。	
		2. 何をどのくらい食べればよいか考えよう	身近な食品を6つの基礎食品群に分類できる。	
		3. バランスのとれた食生活を考えよう	必要な栄養を満たす1日分の献立をたてることができる。	